

平成28年度 1学期

学校評価

〈自己評価〉

- 教職員による自己評価 P 1 ~ P 4
- 生徒による自己評価 P 5 ~ P 9
- 保護者アンケート結果 P 10 ~ P 13
- 校務分掌の自己評価 P 14 ~ P 22
- 今後の教育実践 P 23 ~ P 27

山鹿市立鹿北中学校

教職員による自己評価【1学期】

学校教育目標【自治力育成となかまづくり 一人ひとりの個性の開花】の達成に向けての重点項目についての評価です。1学期の教育活動を通しての成果と課題を明らかにして、課題解決に向けて、具体的な教育実践を考えるための資料となります。

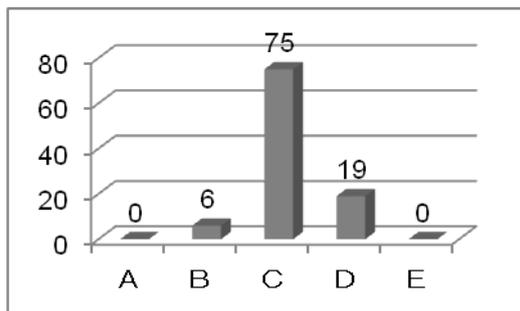
回答数は16名です。グラフは全体を100とした時の割合(%)で表しています。

A・・・概ね達成でき満足できる状況
 B・・・課題は残るが達成されている割合が多い状況
 C・・・課題と達成が半々の状況
 D・・・課題の方が多く達成にはまだまだ時間がかかる状況
 E・・・課題ばかりで達成への道筋が見えない状況

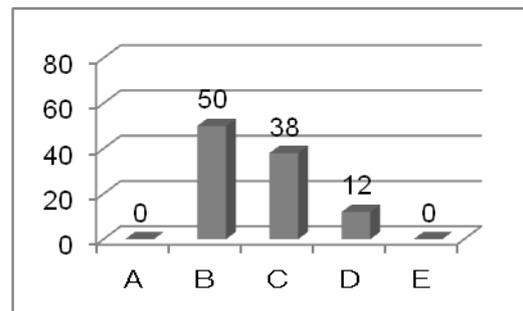
1 自治力育成【徳育】

学級・学校の課題に自ら気づき・みんなと協力して解決できる生徒

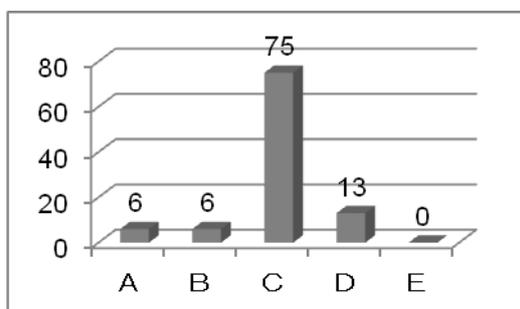
(1) 自ら課題を見つけ、みんなで話し合い、自ら課題解決に取り組むことができる生徒の育成



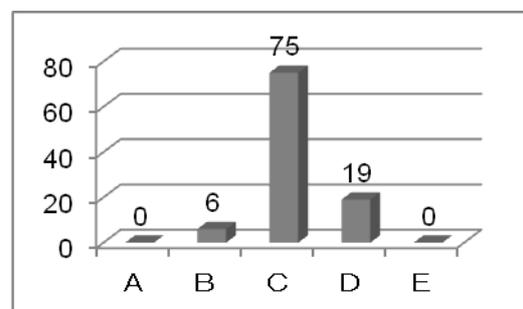
(2) 執行部や委員長・副委員長を中心としたリーダー育成と、生徒会年間テーマ「CHANGE」を意識した生徒会活動の活性化



(3) さまざまな行事や活動に積極的に取り組み、友だちと協力し達成感を味わうことができる生徒や集団の育成



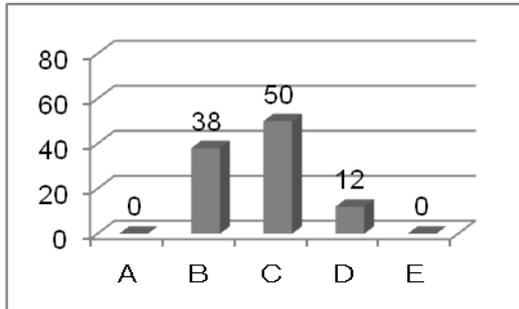
(4) 社会に出た時に、人として通用する力(礼儀、態度、身だしなみ、責任を果たす、約束を守る等)を身につけた生徒の育成



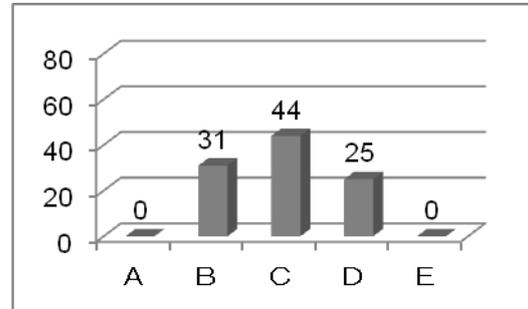
2 なかまづくり推進【徳育】

自分の思いを安心して表現でき、相手の思いに誠実に寄り添える生徒集団

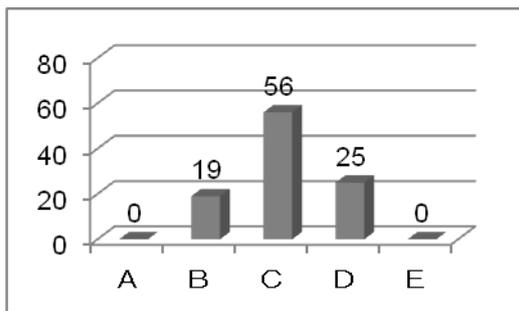
- (1) 一人ひとりの人権が大切にされ、安心して生活ができる学級集団・生徒集団づくり



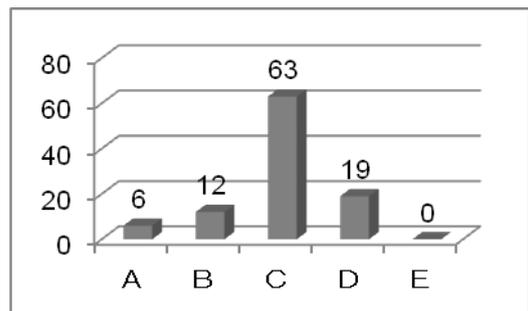
- (2) 自分の思いや考えを伝えることができ、相手の思いや考えを受け止めることができる学級集団・生徒集団づくり



- (3) 友だちが間違っただけに進みそうなときに、勇気をもって声を掛けることができ、また、友だちの頑張りを認め共に喜ぶことができる生徒の育成



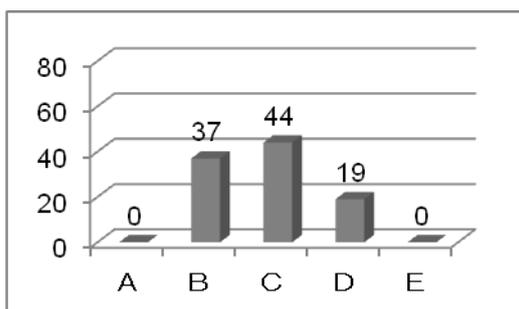
- (4) 自分から積極的に、地域の方々、先生、友だちにあいさつができる生徒の育成



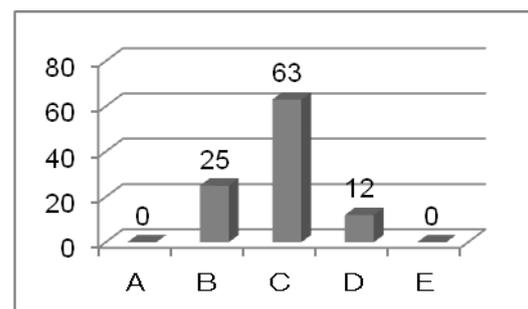
3 生徒一人ひとりの個性の開花【知育・特別支援教育】

自分の良さ知り、自分らしい生き方に誇りをもてる生徒

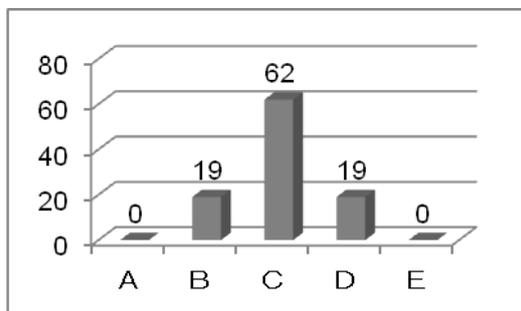
- (1) ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりと、個に応じた手立てや合理的配慮の提供が確実に行われる授業実践



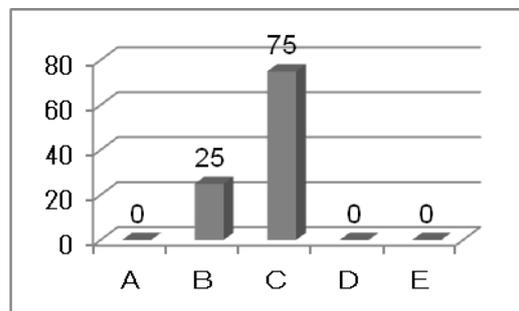
- (2) 授業の中での「わかった」「できた」などの小さな成功体験を積むことを通して、自尊感情や自己有用感の涵養へとつなげることができる授業実践



(3) 自分にあった学習方法を見つけ、計画的に家庭学習に取り組むことができる生徒の育成



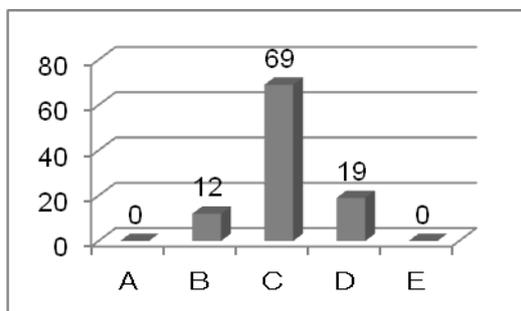
(4) 学活や総合的な学習の時間などを通して、また、様々な体験活動を通して、自分の進路や生き方を見つめることができる生徒の育成



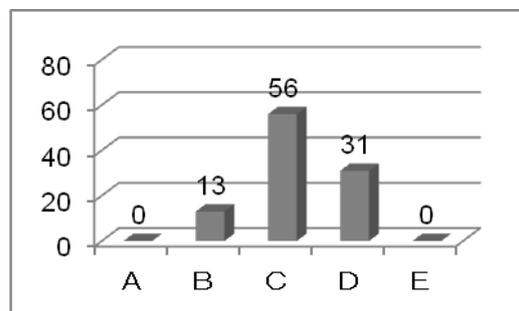
4 自立した学習者の育成【知育】

生活習慣や学習規律について自己コントロールできる生徒

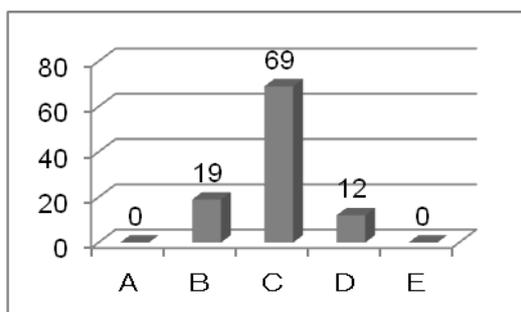
(1) 積極的に授業に参加し、学ぶ楽しさを実感できる生徒の育成



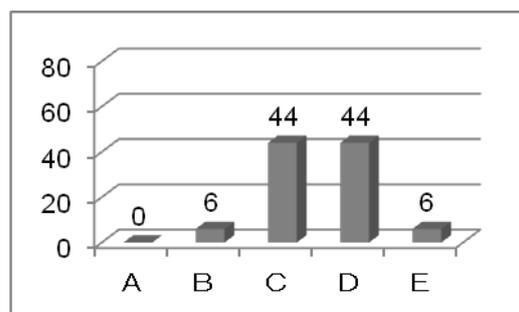
(2) 基本的な学習規律（挨拶・返事・姿勢・態度等）と、学びの力（読む・話す・聞く・書く等）を身につけることができる授業実践



(3) 教師の説明を精選し、一人学びやペア、グループでの学び合いなど、生徒が主体的に学ぶ場を確保した授業実践



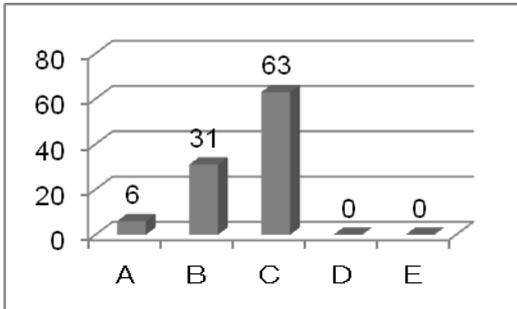
(4) 生徒自身の言葉で「まとめ」がなされ、一人ひとりが「めあて」を達成することができる授業実践



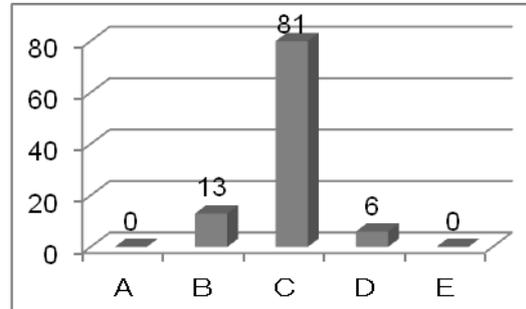
5 部活動による学びと体力向上【体育】

異年齢交流による学びを大切にし、自ら体力向上に取り組む生徒

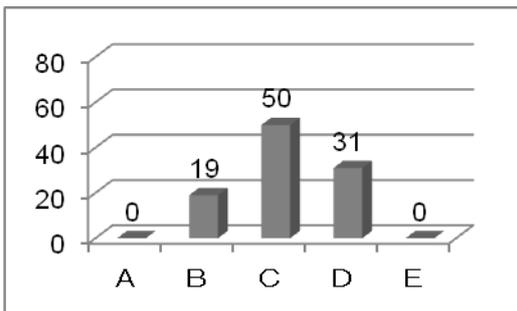
(1) 体力向上のために積極的に運動に親しむことができる生徒の育成



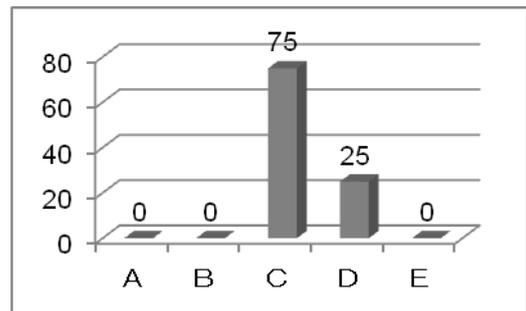
(2) 自分の体力や健康に関心を持ち、自ら健康管理ができる生徒の育成



(3) キャプテンや部長のリーダーシップのもと、明確な目標を共有し部活動に真剣に取り組む生徒の育成



(4) 部活動で学んだことを、部活動集団を離れ一人の時でも、学んだことを生かすことができる生徒の育成



生徒による自己評価【1学期】

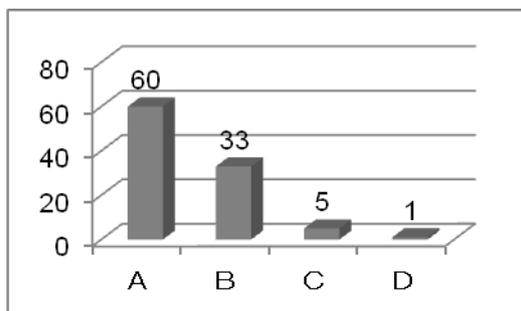
小学校と共同で実施した研究推進のための生徒アンケートです。今年度から2年間、鹿北小学校・鹿北中学校は、「校種間連携（小・中連携）」を推進するため国の指定を受け、2年間の研究をスタートさせました。1学期は、2年間の研究の方向性の確認、目指す生徒像の明確化、生徒の実態把握、小中合同でのユニバーサルデザインの授業力向上、合理的配慮の提供、学級の支持的風土及びなかまづくりについての提案授業等に取り組んできました。生徒による自己評価は、研究推進の要である5つの項目について、生徒による自己評価（実態把握）を行いました。この結果を今後の研究推進に活用していきます。生徒の回答数は75名（回答率93%）です。グラフは、全体を100とした時の割合（%）で表しています。

- A・・・している・できている・そう思う・そう感じる
 B・・・まあまあしている・まあまあできている・まあまあ思う・まあまあ感じる
 C・・・あまりしていない・あまりできていない・あまり思わない・あまり感じない
 D・・・していない・できていない・思わない・感じない

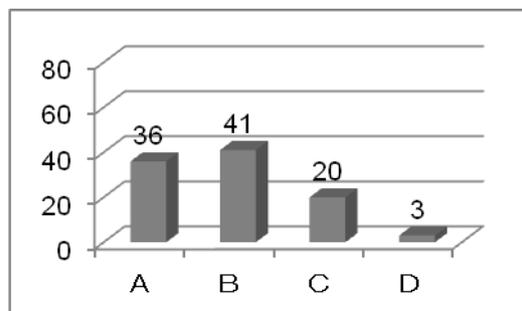
1 小中連携・地域連携 【目指す生徒像】 地域のために行動できる生徒

- ① 地域行事に積極的に参加し、地域をよくしようとする事ができる。
 ② 地域の人に積極的にあいさつをし、地域の人とコミュニケーションをとることができる。

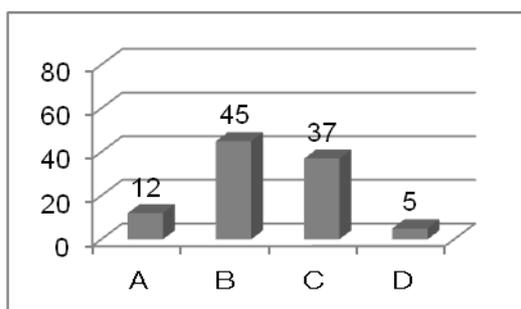
(1) 地域の方々と出会ったとき、自分からあいさつをしていますか。



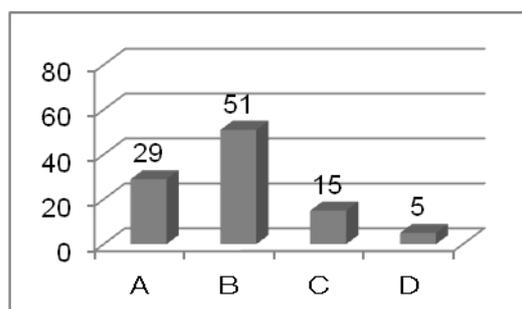
(2) 地域行事に積極的に参加していますか。



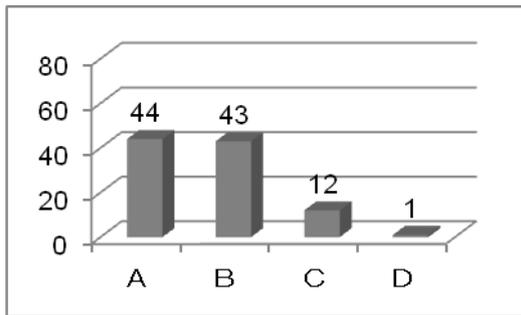
(3) 地域の方々と積極的な交流ができていますか。



(4) 小学生や小学校を身近に感じますか。



(5) 小学生と中学生がもっと交流を増やすことはよいことだと思いますか。



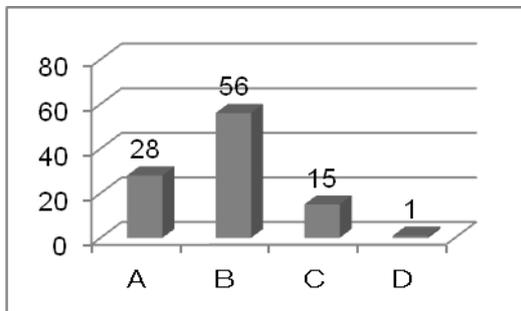
(6) 地域をよくするために（元気にするために）あなたはどんなことに取り組んでいますか。（記述）

- あいさつをする。
- 地域行事に参加する。
（祭り、草取り、クリーン作戦等）
- 地域の人と話をする。

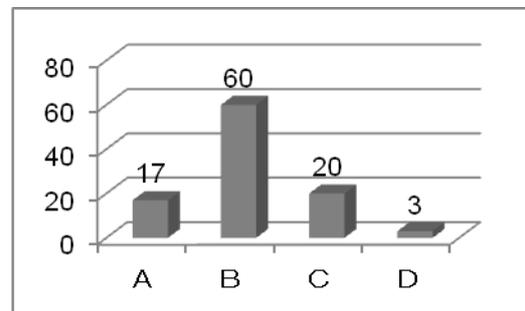
2 学力向上・外国語活動 【目指す生徒像】意欲的に学ぶ姿勢を身につけた生徒

- ① 自分にあった学習方法を見つけ、計画的に家庭学習に取り組むことができる。
- ② ねばり強く学習課題を解決し、学ぶ楽しさを実感することができる。

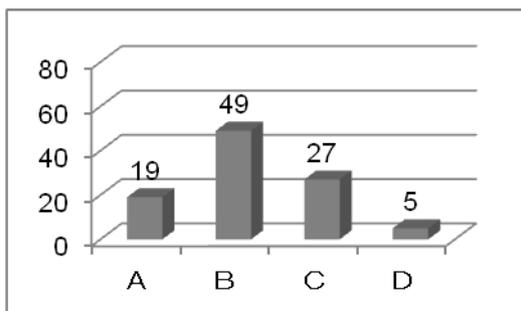
(1) 積極的に授業に参加し、学ぶ楽しさを感じていますか。



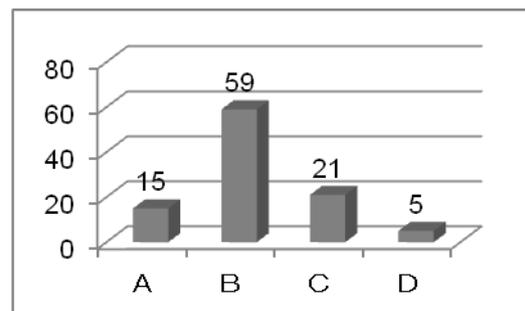
(2) 授業中、友だちの考えや意見を自分の考えや意見と比較し、意見交換を通して考えや意見を深めることができますか。



(3) 自分にあった学習方法を見つけ、計画的に家庭学習に取り組んでいますか。



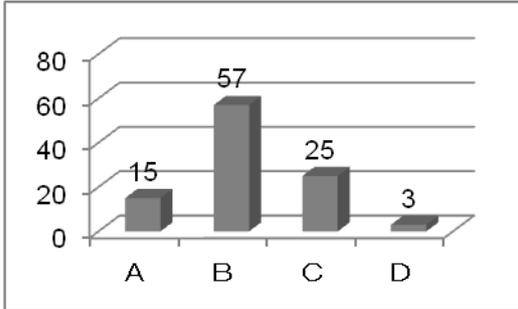
(4) ワークやプリントの問題に、わかるまでねばり強く取り組むことができますか。



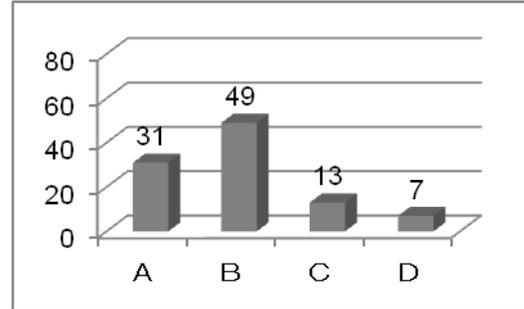
3 自治力育成となかまづくり 【目指す生徒像】自ら課題を見つけ、話し合い、理解に向けて自主的に行動できる生徒

- ① 一人ひとりの人権や個性が尊重された学級集団を作ることができる。
- ② 自分の思いや考えを伝えることができ、また、相手の思いや考えを受け止めることができる。

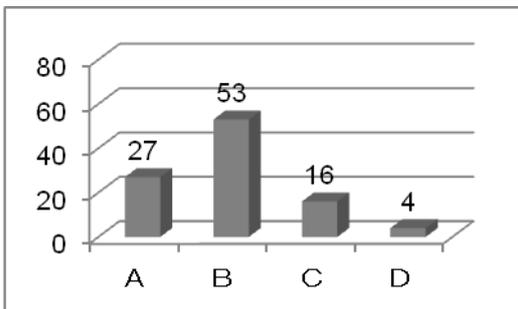
(1) 自ら課題を見つけ、話し合い、自分たちで課題を解決することができますか。



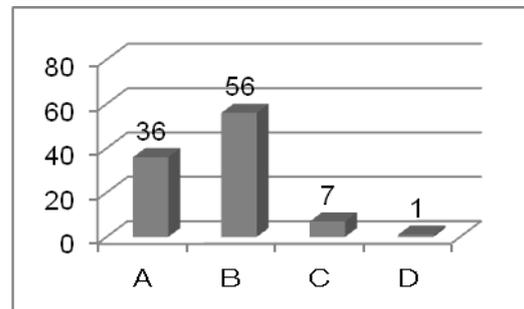
(2) 学級集団の中で一人ひとりが認められ、安心して生活ができていますか。



(3) 学級集団の中で自分の思いや考えを伝えることができますか。



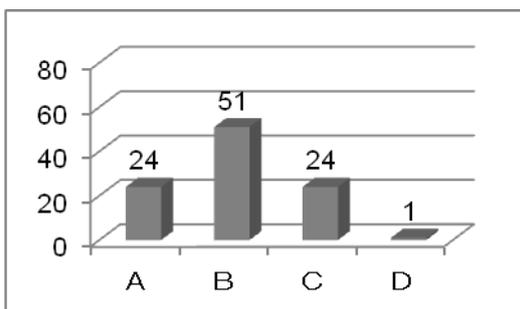
(4) 学級集団の中で相手の思いや考えを受け止めることができますか。



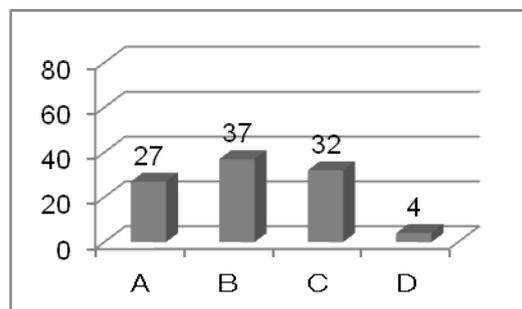
4 体力向上 【目指す生徒像】自分の体力や健康に関心を持ち、積極的に運動に親しむことができる生徒

- ① 基本的な生活習慣の確立することができる。
- ② 自ら健康増進に取り組むことができる

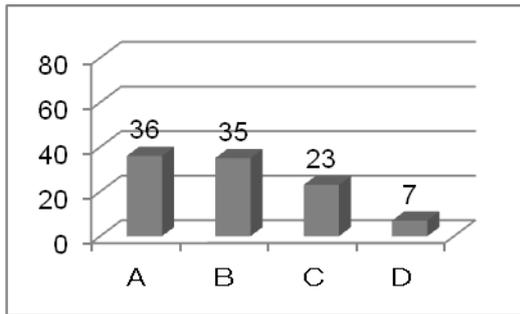
(1) 自分の体力や健康に関心がありますか。



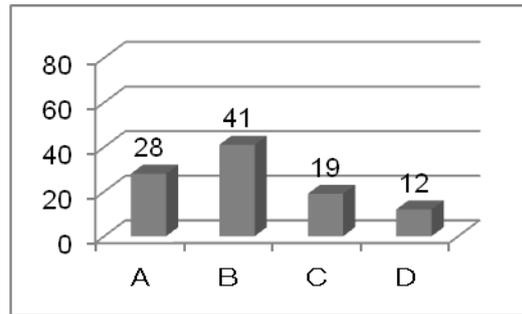
(2) 体力向上のために積極的に何かに取り組んでいますか。



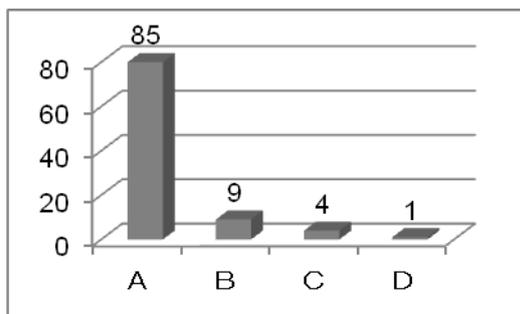
(3) 去年と比べ体力がついてきたと思いますか。



(4) 決まった時間に起床・就寝をしていますか。

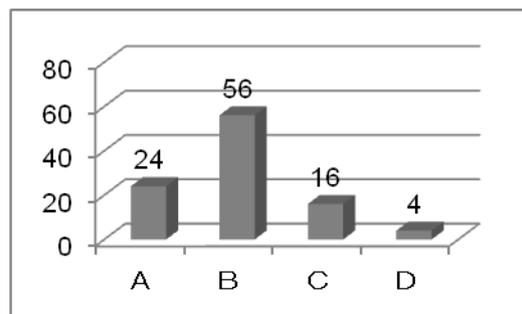


(5) 毎日、朝ご飯を食べていますか。



(6) テレビ・ゲームコントロールができていますか。

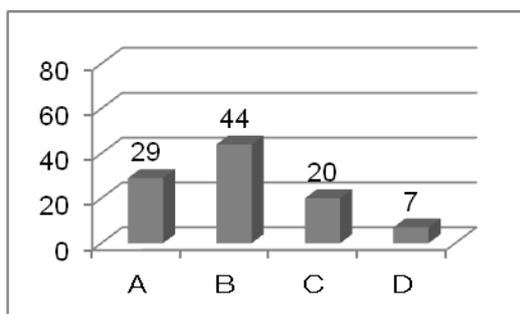
(部活動がある日：1時間程度、部活動がない日：2時間程度 休日：3時間程度)



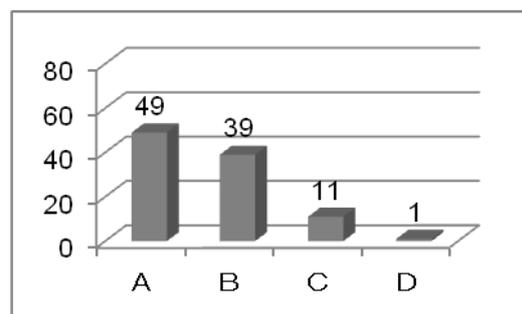
5 特別支援 【目指す生徒像】かくじつに ほがらかに くふうできる生徒

- ① 「手伝ってください。」「助けてください。」「教えてください。」と自分から言うことができる。
- ② 自分にあった学びの場を利用するとき、「行ってきます。」「ただいま。」「行ってらっしゃい。」「おかえり。」と言葉をかわし、お互いを認めあうことができる。
- ③ 「わかった。」「できた。」と授業や活動の中で言うことができる。

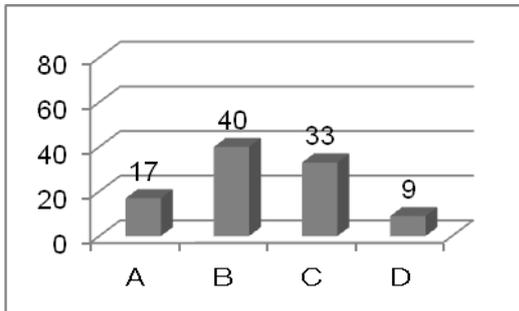
(1) 「できないこと」、「わからないこと」があったときに、家族に「手伝って」「助けて」「教えて」と言っていますか。



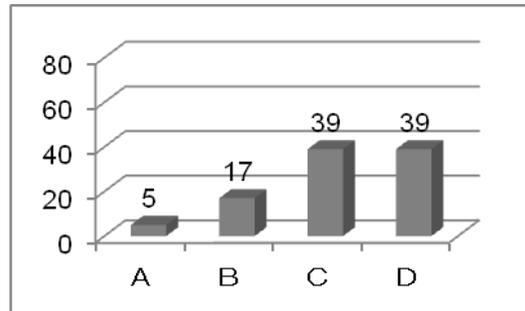
(2) 「できないこと」、「わからないこと」があったときに、友だちに「手伝って」「助けて」「教えて」と言っていますか。



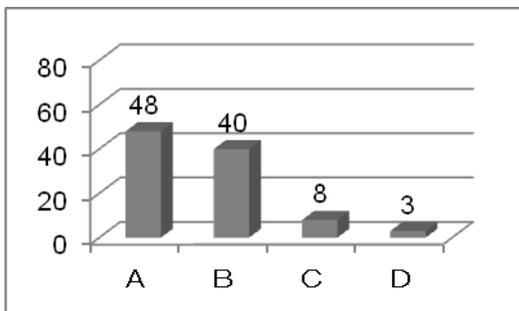
(3) 「できないこと」、「わからないこと」があったときに、先生に「手伝って」「助けて」「教えて」と言っていますか。



(4) 「できないこと」、「わからないこと」があったときに、知らない人に「手伝って」「助けて」「教えて」と言っていますか。



(5) 授業や活動の中で、「わかった」「できた」と思うことがありますか。



保護者アンケート【1学期】

保護者の皆様による学校教育等に関するアンケートです。生徒の社会性や自主性の定着状況、本校教育活動の方向性に対する理解、教職員との連携や信頼、本校への信頼や開かれた学校の状況、生徒の行事への取り組みや地域でのようすについて、保護者の皆様がどのように思われているのかを確認させていただきました。この結果を真摯に受け止め、教育活動に生かしていきます。

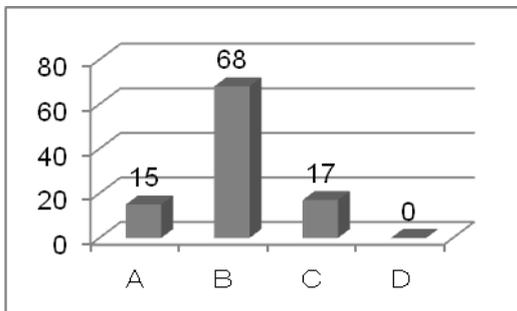
保護者の皆様の回答数は68名（回答率91%）です。グラフは、全体を100とした時の割合（%）で表しています。

- A・・・身につけている・できる・取り組んでいる・知っている・相談できる・思う
 B・・・ある程度（身につけている・できる・取り組んでいる・知っている・相談できる・思う
 C・・・あまり（身につけていない・できていない・取り組んでいない・知らない・相談できない・思わない）
 D・・・身につけていない・できていない・取り組んでいない・知らない・相談できない・思わない

1 生徒の社会性・自主性の定着

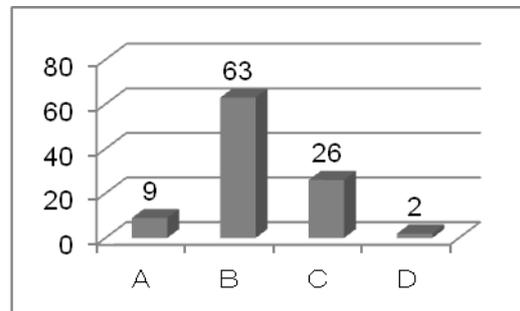
(1) 我が子は、校訓に示されている姿勢が身につけてきている。

【校訓】己を重んじ 己を伸ばす
 友を敬し 友に学ぶ

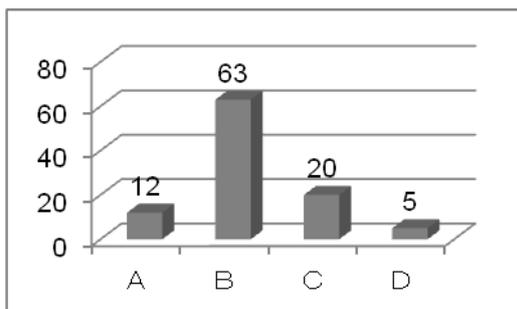


(2) 我が子は、社会に出た時に人として通用する力を身につけている。

※あいさつ、身だしなみ、責任を果たす、約束を守る、言葉遣いなど

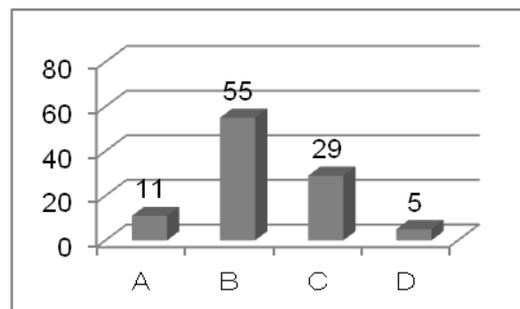


(3) 我が子は、自ら考え、行動することができている。

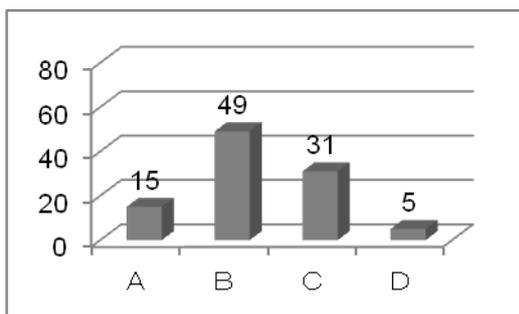


(4) 我が子は、基本的な生活習慣が身につけている。

※決まった時間に就寝や起床、食事の時間、メディアコントロールなど



(5) 我が子は、自分の学習方法を見つけ、
計画的に家庭学習に取り組んでいる。



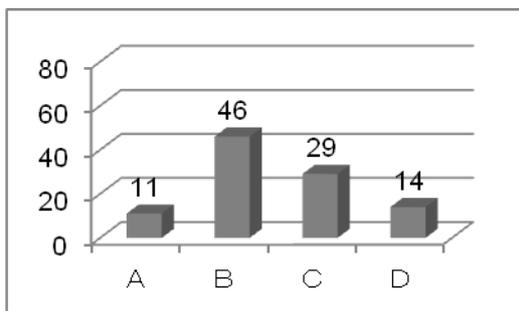
2 学校教育の目指す方向性への理解

(1) 鹿北中の学校教育目標を知っている。

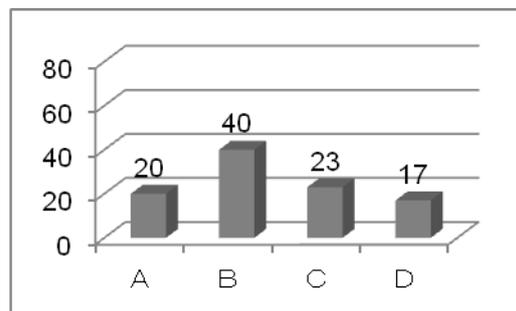
【学校教育目標】

自治力育成となかまづくり

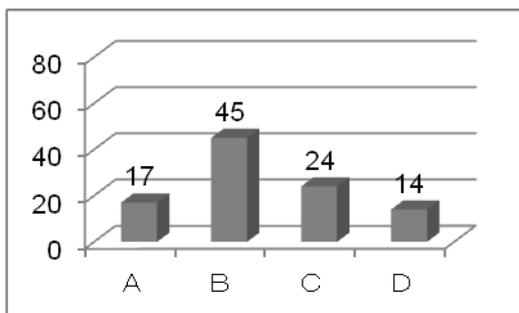
一人ひとりの個性の開花



(2) 鹿北中が国の指定を受けて、校種間
連携（小・中連携）の研究を進めている
ことを知っている。

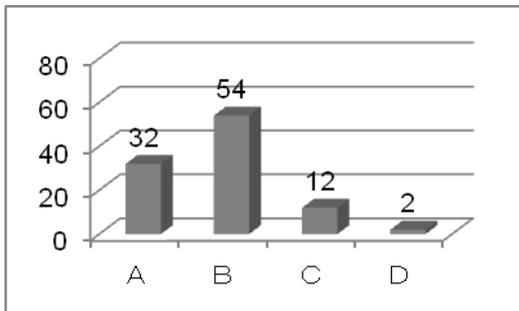


(3) 鹿北中は今年度から、コミュニテ
ィスクールとなり、地域の方々の意
見を取り入れた教育活動を行って
いることを知っている。

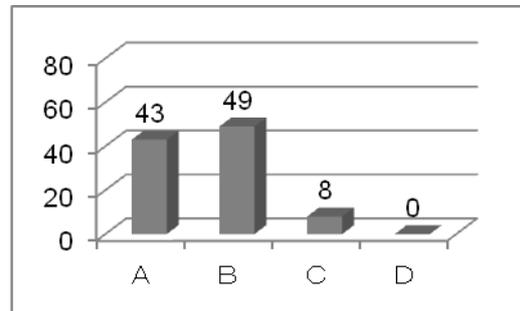


3 教職員との連携及び信頼

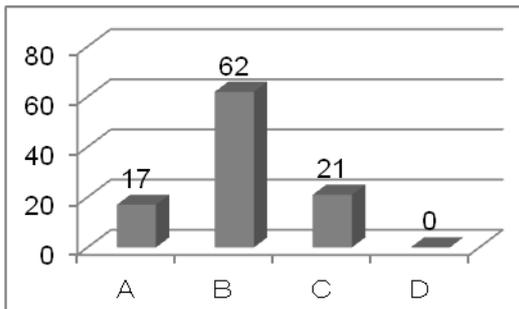
(1) 鹿北中の先生は、話しやすく、子どもことで相談できる。



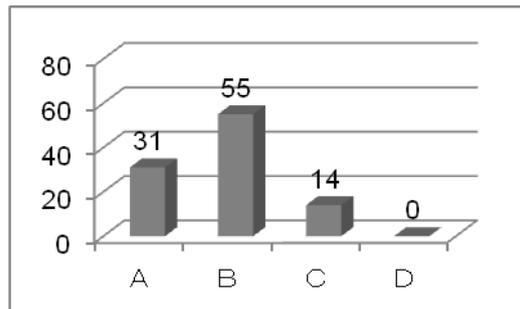
(2) 鹿北中の先生は、子どもたちの教育に一生懸命取り組んでいると思う。



(3) 鹿北中の先生の授業はわかりやすいと思う。(子どもから聞いている。)

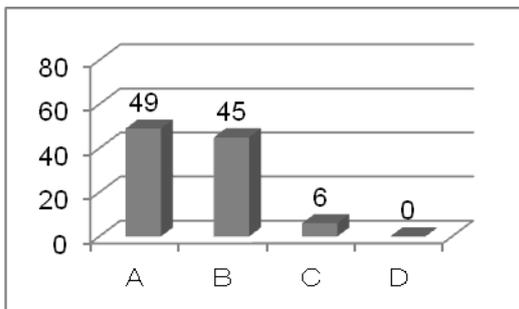


(4) 鹿北中の先生は、家庭連絡や保護者との連携を大切にし、生徒をより良い方向へと導くために努力している。

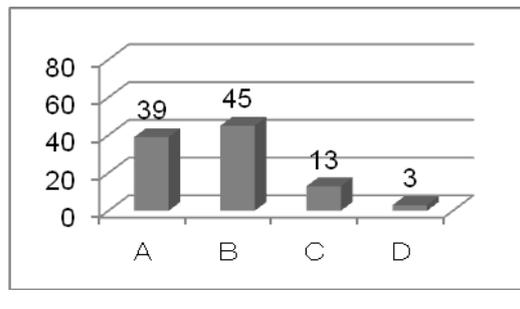


4 鹿北中への信頼及び開かれた学校

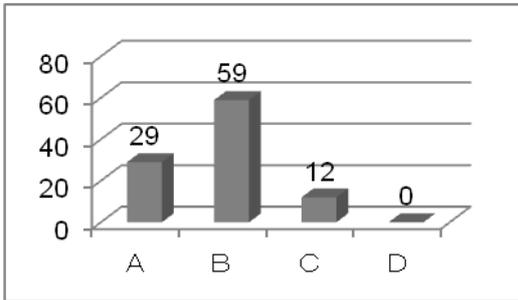
(1) 鹿北中は、子どもたちが安心して生活できる学校だと思う。



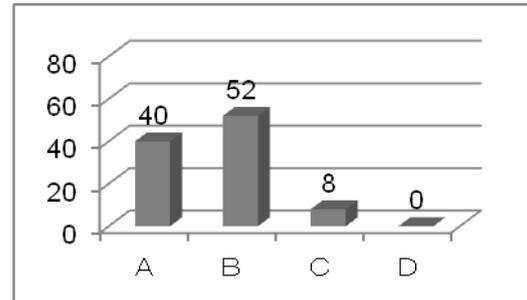
(2) 鹿北中は、便りやホームページ等で様々な情報を伝えようとしている。



(3) 鹿北中は、地域や保護者に対して開かれた学校である

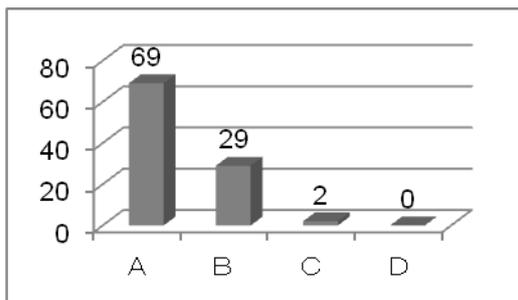


(4) 鹿北中は、我が子を通わせたいと思える学校である。

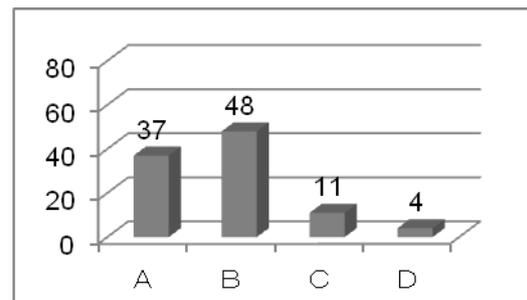


5 生徒の行事への取り組み及び地域でのようす

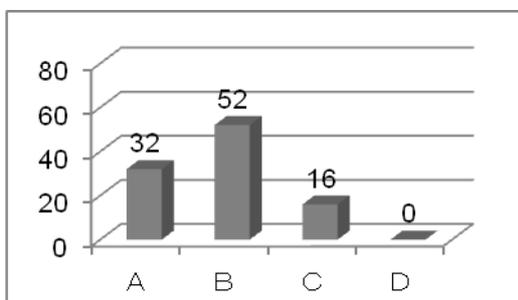
(1) 鹿北中の生徒は、体育大会等の行事に一生懸命取り組むことができる。



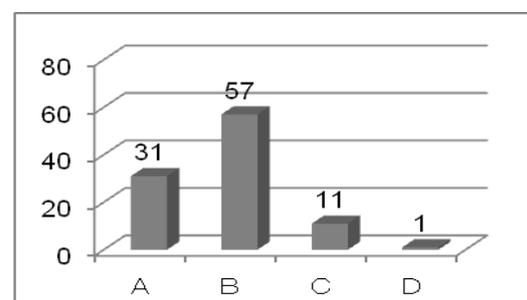
(2) 鹿北中の生徒は、地域で会ったときにあいさつができる。



(3) 鹿北中の生徒は、地域の行事などに積極的に参加している。



(4) 鹿北中の生徒は、交通ルールや社会の決まりを守ることができる。



各校務分掌の教育実践自己評価【成果・課題・志向】

1 教務部

(1) 教務関係【主査：芦村】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">○ 時間割については、案を2週間前、決定版を1週間前に配付できた。○ 1学期後半は、国・数・英については(特に3年生)、できるだけ午前中になるように時間割を組むことができた。○ 授業時数は、昨年度より2～3%ほど多く確保できている。● まだ鹿北中のシステムが十分理解できておらず、先生方には迷惑をかけることができました。● 学校総体としての学力向上対策が不十分でした。● 「めあてとまとめの連動」「学び合い」「アクティブラーニング」への取り組みの徹底が必要である。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">○ 時間割等大変お世話になりました。生徒の状況に合わせて、急な時間割変更にも快く対応いただきとてもありがたかったです。○ 正式な週案が出る前に、先生方の計画や希望、予定を聞かれるための計画案が出され、より確かな週案を出していただき、大変ありがたかったです◎ 計画をありがとうございます。月行事と部活計画とバスの予定の連携がうまくできればと思っています。

(2) 保小中連携【主査：芦村】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">○ 教育課程研究を中心に組織を固め、各部会での話し合いが行われ、実践の基盤づくりはできた。○ UD化、合理的配慮につて実践の紹介ができ参考になった。● 小中のスケジュールを合わせることに時間がかかり、会議日程連絡などが会議間近になることがあり迷惑をかけた。● 創造的かつスピーディーな活動がまだできていない。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">○ 小中学校の教務主任が連絡を取り合い計画を立てていただき、職員はスムーズに取りかかることができました。○ 研究とうまくリンクさせることができている。◎ 運動面での体力作り、運動能力・技能の基礎作りの連携を更にお願したい。体力も学力である。◎ 小学校の先生方ともしっかり話がリラックスしてできるようになりたいです。◎ 小学校と合同でのNRTの分析を行い、つまずきやすい箇所やスキル面での課題を分析し、小中が連携して徹底指導できるよう、小学校の教務主任等との話し合いの場を設定する必要がある。それが、9年間を見通した教育課程編成への足がかりとなる。◎ 小中一貫教育が行われている学校を訪問し、連携から一貫への道筋のスケジュールや乗り越えるべき課題等を学び、鹿北小・中の一貫教育の具体的な計画を立てていく。◎ 小学校の先生の授業から学べることはたくさんあるので、いそがしいとは思いますが、授業参観週間などを設けて、自由に参観できるようにすると、授業力向上のヒントが得られるように思う。

3 徳育部

(1) 特別活動【主査：橋本】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">○ 3月下旬のリーダー研修を受けて、新執行部がスタートした。新入生歓迎行事や生徒総会、体育大会において、生徒会を中心に、計画を立て、自分たちなりに取り組み、その中から反省をしながら次に生かしていくことができた。○ その一方で、日常活動の充実や、学校の課題を自らで変えていこうとする自主性を育てることが出来ていない。◎ 1ヶ月に一回行われる鹿北タイムの生徒議会において、学校の課題を共有し、今後の具体的な取り組みにつなげていけるようにしたい。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">○ 生徒会活動を中心に子ども達の動きが見える活動ができていた。○ 昨年以上に生徒会が活発に活動していると思います。それをどう引きついでいくか、工夫改善していくかが課題です。○ 生徒会がしっかりと動いていると思います。○ 鹿北タイムの活用など、生徒会が集まっているいろいろな話し合いをする時間があり、自治力育成に繋がっていると思います。○ 自治力の育成のために、子どもに気付かせるとともに考えさせ、行動を起こさせ、成功体験をさせ、自信と力をつけさせる指導ができてきていると思う。◎ 生徒会執行部が選挙で当選した時の公約を再度確認し、自分が約束したことを果たすために何をすべきかを考えていく。◎ あいさつの活性化は、山鹿市中学校生徒会の共通行動宣言として作り上げたものなので、どうすればもっとあいさつがよくなるのかを考え、実践につなげる必要がある。自分が、また自分たちが決めたことについては達成させられるように、みんなでサポートしていくことが大切である。◎ 全体的な意識が高まる工夫があるといい。◎ 2年生のリーダー育成を今から行っていく。自分たちがこれから鹿北中を引っ張ってくという意識を少しずつ高めていく。

(2) 道徳教育【主査：志方】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">○ 1学年では、担任外の先生が道徳の授業を行った。また、その際に他の先生に授業を参観していただいた。○ 熊本の心を学級に置き、読書の時間などに活用した。● 外部のGTの活用ができなかった。しかし、学年の他の先生に終末の話をしていただくことはできた。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">◎ 教科としての道徳が打ち出され、道徳の教材を読むのではなく、問題解決や体験的な学習なども取り入れた「考え、議論する」道徳教育が始まります。夏季休業中に、道徳担当の先生方の研修会もあるので、校内研修で復講していただくと、全職員の学びとなると思います。◎ 道徳的実践力の育成と指導を、学校教育活動全体を通して行っていきたい。掃除や当番活動、あいさつや困っている人を助けるなど、日常の学校生活の中には、たくさんの道徳的実践力を発揮する場面がある。それを生徒が意識できるようにしていきたい。

(3) 情報教育【主査：坂口】

取り組みと成果・見えてきた課題
◎ 夏休みはサーバー等の設置がありますのでデータの移動や整理、保存等をしていただくとと思います。今までのUSBはあたらしくなったPCでは反応しなくなります。
意見・気づき・要望・成果・課題
○ スマホ安全教室が実施できたことは良かった。 ○ スマートフォン・携帯安全教室で生徒・保護者に講話ができたことは大変良かった。 ◎ いつまでに何をどうすれば良いのかを、方法を含めて教えていただければと思います。 ◎ 校長先生にHPを書いていただいている。ありがたい気持ちと申し訳ない気持ちがある。担当を決めた方がいいと思う。 ◎ これを機会に情報教育として何か取り組みができないか。 ◎ 学校事務センターにサーバー機を設置する計画の中で学校側の準備が計画的になされる必要があると思うので、今後とも情報や指示をお願いします。

(4) 人権教育【主査：大谷】

取り組みと成果・見えてきた課題
○ 各クラスで、鹿北人権宣言を唱和していただいた。 ○ 清流アンケートをとり、各クラスの課題を生徒が確認できた。 ○ 生徒会の取り組みで、全校生徒でレクリエーションを行うことができた。 ○ 学年毎に、人権学習の時間にテーマを設けて取り組むことができた。
意見・気づき・要望・成果・課題
○ 昨年に引きつづき、志方先生に学ばせてもらっています。ありがたいです。 ○ 学年での取組に、私自身があまり関わるができなかったが、しっかりと教材研究も行って頂き、学年にも内容をおろして頂き、ありがたかった。 ◎ お忙しい中、校内研修でレポートについていろいろご意見、ご質問等いただきありがとうございます。先生方のおかげで、当日もがんばろうという気持ちになることができました。 ◎ 1年を通じて多くの研究会等が行われるが、参加者を割り振り、計画しておいた方がいいと思う。 ◎ 人権学習について3年間の計画を見直す必要があると思う。系統立ててそれぞれの学年で何を学ぶのが最良なのかを見直す時期に来ている。また、小学校の人権学習では、どのような学習をしてきたのかを調べ、それらも参考に考えていった方がいいと思う。 ◎ 志方先生、レポートの作成ありがとうございます。自分を語る取り組みが、学級のなかまづくりへとつながっていく、そこに「学び」があるのではないかと考えています。自分を出さずに微妙な距離感で生きている今の中学生に、もっと違う距離感を実感させ、人と人をつないでいく、そんな学級づくり、なかまづくりがレポートから伝わってきます。レポートからたくさんのことを学ばせてもらいました。 ◎ 他学年の人権学習の状況が見えるような工夫があると良いと思います。 ◎ 私たち教職員の言語環境についてもしっかりと整えていきましょう。どのような言葉を生徒にかけるかで、生徒の意欲の高まりに違いが出てきます。また、あいさつも、私たちから率先してするようにしましょう。生徒がするまで待つ必要はないと思います。気づいた人からあいさつする。職員同士、生徒と職員、生徒同士のあいさつを広げていきましょう。人を尊重する第一歩があいさつです。

3 知育部

(1) 教科指導【主査：教科担任】

取り組みと成果・見えてきた課題

【数学】

- 2年生と3年生の半分の数学を担当したが、めあてとまとめのつながりがまるでなかった。言語活動の充実、発見学習の推進を目標に授業をしているが、なかなか難しい部分もある。2学期からも、生徒の実態に応じて、適宜入れていきたいと思う。
- 生徒が主体的に学ぼうとする授業を目指していますが、なかなか学力向上まで繋げることができず反省しています。

【美術】

- インクルーシブ教育システム構築をふまえたUDの授業力の向上、合理的配慮の充実をどのように進めるのか、課題意識を持って授業づくりを行うことができていると思う。

【保健体育】

- 個に応じた目標の設定を行うことで、意欲が高まった。
- ◎ 映像等を利用し、イメージしやすい環境を整えたい。
- ◎ 学習訓練（気をつけ、礼など）徹底していく。

【英語】

- 生徒自身が、活動したり、発表したりする活動を多く取り入れるようにしてきた。また、ペア活動を多く取り入れ、主体的に学習に関われるように取り組んできた。ペア活動や発表などで積極的に取り組む姿も多く見られる。また、相手を気づかう様子も見られた。課題は、より興味を引くような話題、教材をいかに取り入れ、英語が苦手な生徒も意欲的に取り組むようにすること。また、基礎的・基本的事項の定着。小中連携としての取組。

【音楽】

- △ 授業の内容に興味を持つような内容を、と工夫してみたが、反応がないときも多々あった。
- △ 「めあて」の提示はできたが、「まとめ」が出来ていない時があった。

【国語】

- めあて、1時間の流れなどについては、取組ができたように思う。
- 授業のまとめを生徒の言葉で書かせたり、言わせるところがまだ不十分である。

意見・気づき・要望・成果・課題

- 授業はまだまだ教師主導で行われているように思います。徹底指導の場面では、それも必要ですが、生徒が下を向いてしまうような状況をつくらぬよう工夫が必要だと思います。熱心に頑張ろうとしている生徒が下を向いてしまったり、外を見たり、あくびをしているのなら、その授業への警鐘ととらえなければいけないと思います。意欲を引き出すちょっとした言葉がけや興味関心を高める工夫など、1時間の授業の中で集中力が欠けてきたときに、その機を逃さずどんな手を打つのかを事前に持つておく必要があります。子どもから出される授業改善のサインを見逃さないようにしましょう。
- 「めあて」と「まとめ」の連動が行われていない授業があります。「まとめ」をしっかり行わなければ授業が完結しません。生徒が今日どんな学習をし何が分かったのか、何を身につけたのかなど、振り返りがないと達成感や充実感も半減してしまいます。2学期は、「めあて」と「まとめ」の連動の徹底をお願いします。
- ◎ 「めあてと課題の連動」について全教科で統一した共通実践が必要だと感じます。
- ◎ アクティブラーニングの授業づくりをめざした授業改革も必要に感じます。

(2) 校内研究【主査：内古閑】

取り組みと成果・見えてきた課題
<p>◎ 研究を進めるにあたって、UD化と合理的配慮に重きを置くことにはなったが、具体的に何をすることははっきりしておらず先生方も迷いがあると思う。研究推進（授業力向上）の重点指導項目をいくつかははっきりと示した方がいいと考える。</p> <p>○ これまでの取組については、先生方が大変協力的で、組織や研究のタイムテーブル、目指す生徒像などスムーズに決定することができた。</p>
意見・気づき・要望・成果・課題
<p>○ 研究推進ありがとうございます。1学期中に生徒像の明確化と実態把握ができたこと、また、提案授業ができたことが良かったと思います。今後は、研修や推進委員会等で集まった時だけでなく、日常生活の中でいかに各自が研究をふかめていけるかがカギとなります。日頃の実践の成果と課題を定期的に持ち寄りお互いで出し合いながら授業力を向上させていくことができるよう工夫をお願いします。</p> <p>○ 研究計画から研究授業まで内古閑先生には忙しい1学期だったと思います。</p> <p>◎ 保小中連携は本当に鹿北の課題だと思います。</p> <p>取組は大変ですが、将来の鹿北を考えていかなければならないと思います。</p> <p>○ しっかりとした計画のもと実施されていると思います。</p> <p>○ 研究指定を受け、研究主任を中心に研究の体制作りができてきていると思う。</p>

(3) 図書館教育【主査：兒玉】

取り組みと成果・見えてきた課題
<p>○ 読書活動推進委員の先生に図書館の環境整備をととも工夫していただいている。</p> <p>● 課題としては昼休みなど図書室を利用する生徒が限られていることである。</p>
意見・気づき・要望・成果・課題
<p>◎ 読書推進員との連携した取り組みができればいいと思います。</p> <p>○ 読み聞かせは、良い情操教育の場になっている。</p> <p>○ よく本を読んでいるなど感心します。</p> <p>○ 読書活動推進員に図書室の環境作りをしていただき大変ありがたい。</p>

(4) キャリア教育【主査：兒玉】

取り組みと成果・見えてきた課題
<p>○ 今年は、進路通信作成を目指しているが、まだ発行数が少ない。しかし、2、3年生に体験入学一覧などを配付して情報の開示ができたことはよかった。</p> <p>● 課題は、計画的な進路通信（情報発信）ができていないことである。</p>
意見・気づき・要望・成果・課題
<p>◎ 1・2年生のキャリア教育も3年生のキャリア教育と並行して充実させていきたい。</p> <p>◎ 支援が必要な生徒は進路指導を早めに行いたいです。</p> <p>○ 1、2年生時からの体験入学（オープンスクール）等の参加の呼びかけはありがたいです。</p> <p>○ 2年生にも体験入学等の連絡ありがとうございます。</p> <p>○ 城北高校への1日体験は、新たな取り組みとして大変良かったと思う。子どもの意識を高めて今後の指導に生かしていくことができると思う。</p>

(5) 総合的な学習の時間【主査：児玉】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">◎ 各学年での取組ありがとうございます。各学年とも年間計画に沿った取組がなされていると思います。ありがとうございます。◎ 1学期は評価等の記入はありませんでしたが評価も意識しながら資料の収集などの取組今後よろしくお願い致します。○ 各学年とも主任の先生を中心に進めていただいている。● 校外に出たときや外部の方と接する時など、自ら気付いて動く力が弱いところが課題だと感じた。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">○ 各学年でテーマに即した学習ができています。◎ 計画的な取り組みになるように職員全体への連絡(プリント等)があれば良いと思います。○ いつも学年主任の先生にリードしてもらい、順調に進んでいると思います。○ 事前にスクールバスの手配などで相談を受けていたので余裕を持って対応が出来た。予算的な裏付けが十分あるわけではないが、前もって相談があると少しは学習活動に寄与出来ると思う。○ それぞれの学年で、目的達成に向けてしっかり中身が検討され、計画的に実施されているので、子どもたちもしっかり授業に参加することができている。◎ 中体連との絡みで、体験学習を1日にした。9月に、3日職業体験学習もあるので、体験学習はしなくてもいいかなと思う。

(6) ESD教育【主査：磯部】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">● 1学期は、これまでの取り組みに加えるような、新たな取組を行うことはできなかった。職員間でもESDに関する周知がなされていないことから校内研等を通して周知を図っていききたい。● すこやか環境委員会においては、エコキャップ運動に関する啓発を行うことができなかったのも、今後更に進めていきたい。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">● キャップで遊ぶ生徒がいたが、委員会で呼びかけや対策を考えることが出来ていたと思う。◎ 生徒数が少なくなり掃除が十分行き届かなくなってきたと昨年から反省もあっているため、部活動でできる場所は部活動で行い、各掃除班で割り当てられた掃除場所を区切り、1週間で割り振って進めていくなどの方法を取ったらどうだろうか。◎ そもそもESD教育とは何かの共通理解から始める必要があります。◎ 無言掃除の意味も理解させる必要があると思う。◎ 様々な世界の出来事、たとえばEUからのイギリスの離脱、リオオリンピック、テロの問題、地球環境問題など、直接的に間接的に私たちの生活に影響を与えます。どうすれば問題解決に進むのか、自分にできることはどのようなことか、そんなことを考えることもESD教育です。いろいろなアイデアを出して取り組むと興味深い学習ができると思います。

4 体育部

(1) 生徒指導【主査：西浦】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">◎ 自治力育成のための取組を充実させる。◎ 挨拶返事など、基本的なことの徹底を図る必要がある。◎ 規範意識の向上を図る取り組みが必要である。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">● 大きな問題はありませんでしたが、数名の生徒の落ち着きのなさが気になります。◎ 部活動終了後の3年生には何か対策が必要かなと思います。◎ 登校が難しい生徒の情報交換など、学年を越えてもっと発信していかなければならないと思います。いないことが当たり前にならないように、気をつけたいです。◎ なかなか指導が行き届かず、ご迷惑をおかけしている面がたくさんあります。○ 山下区からの情報提供は最近なくなってきたので登下校の状態がよくなってきたのではないかと思います。油断はできないと思います。◎ シャツ出し、くるぶしソックスがときどき見られます。委員会を中心に、服装検査もやっているのですが、自分たちで正していくことができれば良いと思います。◎ 3年生の生徒については、職員全員で関わっていく必要があると思う。何かがあった時だけではなく、授業や諸活動での関わりを密にしていきたい。○ スマホやSNSの講話がとても良かった。○ 丁寧に指導していただきありがとうございました。勉強になります。

(2) 安全教育【主査：中嶋】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">○ 避難訓練が実施できたことやPTAの活動として自転車点検ができたことは、生徒の命や安全を守る点からもよかったと思う。● 自転車の管理面で鍵の取り忘れがある。係としても徹底させたい。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">◎ 安全点検をした後の流れを再度確認し、迅速に対応できるよう工夫が必要である。◎ 朝のランニング等で走るコースによってはまだまだ事故の危険性があるので、危険予測訓練などを取り入れて対応を考えた方がよい。

(3) 食育【主査：片岡】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">○ 講話をしていただいたり、マナーのポスターを貼ったりして啓発することはできた。● 委員会で発表したり、注意し合うことはできなかった。◎ 可能であれば、生徒集会等を通じて啓発をしていきたい。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">◎ 給食関係は片岡先生に負担が多く、各学年部の食育担当の協力も必要だと思います。● 正しい箸の持ち方、食器を持って食べる等のマナーがなかなか守れていないと思うし、時間内に食べてしまう指導も必要だと思います。その結果給食当番がまとまって食器を返しに行くことができなくなり、馬場先生に迷惑をかけることになると思います。

(4) 生涯学習【主査：片岡】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">○ 吹奏楽部の施設周りの活動を通して、地域と関わることができた◎ 生徒会や、他の生徒の活動を活発化させる必要がある具体的な方法を模索していきたい。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">◎ かほくまつりの千人合唱は、みんなで取り組みましょう。◎ 吹奏楽部の地域での演奏会はととても喜ばれている。今後も継続をしてほしい。また、その際に高齢者の方々との交流がもてれば、もっと良いのではないかと思う。◎ 鹿北市民センター等の協力を得て、ゲートボール等の協会とスポーツ交流をしたり、ボランティア活動に参加し、中学生が地域で活躍できる場を設定していくこともいいと思う。

(5) 健康教育【主査：市川】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">○ フッ化物洗口は定着してきた。また、学校歯科医のブラッシング指導が実施できた。◎ 1学期中にう歯の治療が済んだ生徒はいないので機会あるごとに呼びかけが必要である。◎ 生徒会委員会を中心として体力向上の取り組みを充実させていく必要がある。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">○ 大きなけがや病気がなくてよかった。○ エアコンが使える中で勉強ができていることに感謝しています。できれば特別教室にもほしいと思います。● 性教育の資料を準備していただいていたのに、1学期中に授業ができなくて申し訳ありませんでした。◎ 1学期はいろいろな健康診断がありました。その結果を受けて、歯や目などの治療率が向上すると良いなと思います。◎ 保健室が困っているときは、いつでも声をかけてください。◎ 朝のランニングの後の汗の処理（着替え）等はできているのか、少し気になりました。

(6) 部活動【主査：西浦】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">○ 各部活動とも目標を設定し努力する姿が見られた。◎ 中体連後の活動（バスケ、サッカー）について早急に考える必要がある。◎ キャプテン会議で目標を決めることで、各部活動の活性化と学校全体へ良い影響がでるように意識を持たせたい。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">○ 少人数ながら、中体連大会等がんばったと思います。部活動の成果が学校生活に活かされると良い。◎ 今後、バドミントン部の活動を開始する場合、できることなら鏡のあるステージ側のコートを使いたいです。○ 中体連でも力を出し切ることはできたと思います。中体連後のサッカー部、バスケット部の対応も、子どもの思いを大切にしながら十分な対応ができていると思います。◎ 部活動でつけた力を普段の生活の中に活かしてやりたいですね。◎ 走力・体力作りの成果を秋に出したいものである。

5 特別支援教育

(1) 特別支援教育【主査：今本】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">○ 特別支援学級担任部会をほぼ毎週行い、支援学級の支援の状況の情報交換や取組の見通しを持つための確認ができた。○ 校内推進委員会と校内就学指導委員会を定期的に行い、生徒の状況の把握、支援の方向性を共有し、全職員の共通理解・共通実践に向けて取り組んだ。推進委員会や戦略が週行事に入れられていて、ありがたいです。◎ 特性からくる二次的な問題への対応が難しい生徒に対して、保護者や関係機関といたって連携を進めていくことが課題である。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">○ 充実した取り組みが行われていると思います。必要な支援と必要でない支援(生徒の成長を止めている)の見極めが難しいと感じました。○ さまざまな場面で、特別支援教育のことを教えていただけるので、とても勉強になりました。また、迷ったりしているときにいただくアドバイスのおかげで、対応したりすることができました。● 愛斗君の進路を見据えた対応にかなりの迷いと心配をしています。○ いつも的確に支援して頂きありがとうございます。また、授業のUD化、合理的配慮の中身についてもご指導ありがとうございます。支援がしっかりと日常化していくよう頑張っていきたい。

6 庶務部

(1) 庶務関係【主査：森】

取り組みと成果・見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none">◎ 予算を有効的に執行するためには個々の先生方と話ながら何が必要なのか事前に把握する必要がある。逐次要望を上げてこられる先生はありがたいが、あまり要望を上げてこられない先生のニーズは何か、そして全体的に何が必要なのかをもっと拾い集める必要があると感じる。
意見・気づき・要望・成果・課題
<ul style="list-style-type: none">◎ 4月から印刷室に新しいコピー機が入りましたが、一度使い方の説明があった方がいいかなと思います。当初の業者の方の説明では、パソコンから印刷を行うときは、すべてあのコピー機に送り、他のコピー機を使わないようにした方がトータルで考えると、経費も抑えられるというお話がありました。○ 事務室もスッキリしていて、いいですね。必要な物への対応、ありがたいです。◎ 体育館の照明や音楽室の雨漏り、給食を運ぶ階段の雨の振込が大変気になります。子どもの健康と大きな事故につながらないか心配しています。○ いつもお世話になっています。ありがとうございます。

6 その他

<ul style="list-style-type: none">◎ 地域との連携、小中連携を深め、広げ、地域とともにある学校づくりのためには1000人合唱を復活させることは有効ではないかと思っているところです。● 2年生の教室の電子黒板用のペンがないので、電子黒板が使用できません。○ スクールバス担当の片岡先生には、突発的な対応をしていただくことも多かったんですが、大変良く対応をしていただきました。鹿北中央観光にも心から感謝しています。
--

学校評価をもとにした1学期の反省および2学期への志向

1 教務部

成果

- 地域行事には77%の生徒が積極的に参加できている。
- 小学校や小学生を身近に感じている生徒も80%と多い。
- 小中の交流をもっと増やすことに意義を感じている生徒は87%と高い。

課題

- 地域行事には積極的に参加できているものの「地域の方々との交流」となると57%と低い。
- 地域でのあいさつの質の充実。（自己評価Aの割合 → 生徒60% 保護者37%）

今後の実践

- 地域の方々と交流する 手立てが必要。
 - ・ 総合的な学習の時間。
 - ・ 地域行事への積極的な参加の呼びかけ。
 - ・ 職員の地域行事への参加。
 - ・ 地域行事へのボランティア参加。
 - ・ 学校の行事案内などの地域への配付を生徒の手で行う。
- 伝わるあいさつ・見えるあいさつの指導。

成果

- 時間割については、案を2週間前に、決定版を1週間前に配付し、余裕を持った計画が行えるように今後も継続したい。
- 小中連携の基盤はできてきた。

課題

- 小中連携の共通実践が必要。
- 創造的・スピーディな活動が必要。
- 運動面での連携が必要。
- 小中合同での校内研修が必要。（NRT分析など）
- 「めあてとまとめの連動」「学び 合い」「アクティブラーニングへの取り組み」の充実。

今後の実践

- 小中連携先進校視察を行い、乗り越えるべき課題の研究を行う。
- 小中授業交流。
(小中の授業を積極的に参観する。授業参観デー等の設置。小中ランチルームの鍵の開放)

2 徳育部

課題

- 自ら課題を見つけみんなで話し合いが不十分。
- 自ら課題を見つけることの難しさがある。
- 話し合い活動としての鹿北タイムの活用が不十分。

- 地域での挨拶。友だち同士での挨拶ができていない。

今後の実践

- 授業中での学び合いで話し合いのスキルを育てる。
- 鹿北タイムの生徒議会の時間に、各委員会で各委員会から見た課題について話し合う時間をつくる。
- 教職員と生徒のイメージの共有（課題解決能力の育成について）をしていく。

成果

- 自分からあいさつをしている割合が高い。
- 地域行事にも積極的に参加している割合が高い。
- 小中連携はいいことだと考えている生徒が多い。
- 自ら課題を見つけみんなで話し合いができていていると感じている生徒が多い。※保護者の評価も高い

課題

- 地域との積極的な行動に課題がある。

今後の実践

- 生徒と教師のめざす生徒像のイメージの共有化を図る。

成果

【道徳教育】

- 1年生では、熊本の心を学級に置いた。読書等で活用している。
- 教室に来ていただいた先生方に話をさせていただいたり、授業をしていただく時間をとることができた。

【人権教育】

- レポート研では多くのことを学ぶことができた。

【情報教育】

- スマホ安全教育はたいへんよかった。保護者にも好評でした

課題

- 外部のゲストティーチャーの招聘。〔道徳教育〕
- 人権教育の系統性をもった年間計画の見直し。〔事件教育〕
- 新しいシステムへの移行。〔情報教育〕

今後の実践

- 2年生へのつなぎとリーダー育成。〔特別活動〕
- 生徒会役員選挙と委員長選出、委員会の数や内容の見直しを行う。
- 清流祭の実行委委員会をつくる。（生徒主体の行事）
- 終末だけでも他の職員が行うなど、外部に頼らなくてもよいかもしれない。〔道徳教育〕
- 人権学習の前には人権部会を入れ、部会で練り各学年部に提案していきたい。〔人権教育〕

3 知育部

成果

- 先生方のUD化、合理的配慮への意識が高まってきており、実践が始められている。

課題

- 生徒自身の言葉での「まとめ」の実践ができていない状況がある。

今後の実践

- 「まとめ」のやり方（パターン）をいくつか例示し、子どもの言葉で「まとめ」ができるような実践を行う。（1時間の授業の構成をきちんと考えることが大切）
 - ・ 「まとめ」と「ふり返り」の違いを先生方が明らかにしておく。
「まとめ」・・・学習内容について 「ふり返り」・・・学習活動について。
- UDの授業力向上・合理的配慮の充実への継続的な取組を行う。

課題

- 「自分にあった学習方法を見つけ、計画的に家庭学習に取り組んでいますか。」では、約30%がC,D評価である。本当の意味での学習習慣が身につけていないのではないか。

今後の実践

- 各学年、月に5人分程度自主学習ノートを紹介も含め掲示を行う。
- 家庭学習マニュアルの活用

課題

- 主体的な学びへの転換が課題

今後の実践

- 授業のアクティブ化を目指す。学び合い、発表活動など子どもが主体的に活動する場の設定。（実践事項）
 - ・ 学習形態の工夫、導入の工夫、視覚教材の積極的導入・言語活動の工夫など、教科の特性、単元の内容に応じて工夫する。

4 体育部

成果

- キャプテン・部長会議が出来たことが良かった。
- 各部の課題や全体で取り組む目標等を明確に示すことができた。

課題

- キャプテン・部長から部員への徹底ができていない。
- 部活動で学んだことが普段の生活で活かされていない。

今後の実践

- 委員会を動かし、活性化させる。
- 鹿北カップなどで生徒の意欲の高揚を図る

成果

- 7月から放課後の合同練習を行ったことで、体力向上のための取組の値が高まった。

課題

- 自ら進んで健康増進に取り組もうとする姿が少ない。

今後の実践

- 2学期も始める時間を合わせ、合同練習等（1、2年生）を入れて行きたい。

成果

【生徒指導】

- スマホ、携帯、SNS の講話が開催できた。

【安全教育】

- 避難訓練、自転車点検ができた。

【食育】

- 啓発ができた。

【生涯学習】

- 施設をまわって演奏ができた。

【健康教育】

- フッ化物洗口が定着した。

【部活動】

- キャプテン・部長会議ができた。

課題

- 挨拶返事ができなかったり、服装の乱れが少しある。
- 交通ルールの徹底。自転車鍵かけ。
- 食事のマナー（箸、姿勢）の徹底が必要。
- う歯の治療が進んでいない。
- キャプテン・部長から部員への徹底ができていない。
- 部活動で学んだことが普段の生活で活かされていない。

今後の実践

- 全職員で関わっていく。〔生徒指導〕
- 委員会の活用。〔安全教育〕
- 生徒集会等で啓発をする。〔食育〕
- 地域で活躍する取組（ボランティア）を増やす。〔生涯学習〕
- 保護者への連絡を徹底し治療率の向上を図る。〔健康教育〕
- 委員会活動と連携し、活性化させる。〔部活動で学んだことを生かす〕

5 特別支援教育部

成果

- 1学期は1年生の一人一人の状況把握が目標であった。各教科の学習内容が進むにつれて課題が見えてきた。
- UD の視点での授業づくりや合理的配慮を提供しての授業実践は各教科でかなり進んでいる。

課題

- 支援学級での個別の支援の内容や、交流学級での授業への参加の仕方が課題である。
- 通常学級在籍の生徒で個別支援が必要な生徒への支援を今後どう取り組んでいくか。

今後の実践

- 一人一人の課題に合わせて学習の内容や生活の目標、学習のする場所を適切に判断し、ニーズにあった支援にしていく。
- 特別支援3学級の合同学習（道徳）を行うなど、SSTを通して、自立やインクルーシブに向けた個別の力をつけていく。

- 体験的な活動を通して、小さな成功体験を積む機会を作る。

成 果

- 友だちには「助けて」「教えて」と言える評価が高く、人間関係のつながりが見える。

課 題

- 固定した人間関係の中で生活をしているため、大人や知らない人との中で課題や問題を解決していこうという意欲が低い。

今後の実践

- 支援学級では、人の手を借りてでも目標を達成したい、という意欲を高めるために、個別支援の充実を図る。
- 支援の充実を図るために、授業の工夫・改善を部会で出し合う。

成 果

- 部会を毎週開くことで、指導の見通しをもつことができ、生徒の指導に生かすことができた。学期の途中から、掲示するために週計画を作成することとしたが、特別支援3学級の学習の内容や動きの連携にもつながった。

課 題

●

今後の実践

- 部会の開くことは2学期も継続する。
 - ・ 集団への不応などが起きたときは、学年部だけでなく全職員で対応するなど、関係機関との連携など効果的だと思われること全てに、全職員で取り組んでいく